

わたしたちの祖先は いつ日本列島に やって来たのか

令和8年

日時

2/23(月・祝)

開演 13:30～
(開場 13:00)

入場無料
申込不要

会場

はつかいち文化ホール

ウッドワンさくらぴあ
大ホール 廿日市市下平良1-11-1

石器の
展示も
あるよ！



国立文化財機構奈良文化財研究所 主任研究員
国武 貞克

石刃石器群の成立過程解明のため2017年より中央アジアの4遺跡を発掘中。日本では列島最古の石刃石器群を求めて2020年から長野県香坂山遺跡を、2023年からは冠遺跡を発掘中。香坂山遺跡は2025年9月に国史跡に指定された。

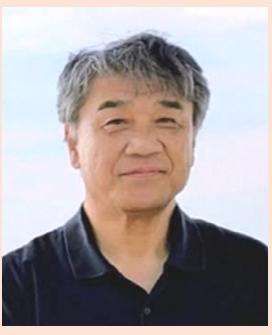
「列島最古の人類は廿日市を選んだ」



広島大学名誉教授
藤野 次史

旧石器時代から縄文時代にかけて多く作られた石槍を中心に尖頭器文化を探求するとともに、現在は石器石材の産地分析を通して、当時の人々の移動や集団間の関係を研究している。

「旧石器時代のくらし」



廿日市市教育委員会文化財課 専門員
妹尾 周三

これまでの冠遺跡群の発掘調査に関わり、高原内では、はじめて始良丹沢火山灰層を発見し、その下位層でも石器群が存在することを明らかにした。現在、石器の再整理を進めている。

「冠遺跡群の発見とその後」



会場のご案内

はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ 大ホール



- JR山陽本線
宮内串戸駅から
徒歩約15分
- 広電宮島線
廿日市市役所前駅から
徒歩約7分
宮内駅から徒歩12分
- 広電バス
廿日市市役所
バス停から徒歩1分
- 廿日市さくらバス
廿日市市役所
バス停から徒歩1分

*駐車場に限りがありますので
公共交通機関をご利用ください。

冠 遺跡群について

冠遺跡群は、石器となる石材の原産地遺跡で、広島県廿日市市吉和の冠高原に広がっています。

冠遺跡群第8地点では、これまでの発掘調査で3つの異なる時期の文化層の存在が確認されていましたが、今回の発掘調査では、さらにその下から新たに2つの文化層が発見され、最下層からは、これまでのものとは特徴の異なる数百点の石器が発見されました。一緒に出土した木炭の破片に残る放射性炭素の濃度を測ったところ、今から4万2300年前頃のものと判明したため、これらの石器群は、わが国最古のものである可能性があると考えられるようになってきました。

日本列島に人類が到達した時期を考えるうえで、たいへん貴重な発見と言えるでしょう。

